



文型を見つける前提知識

英文法入門①

- 文の要素 (S,V,O,C,M)
- 品詞の紹介
- 前置詞 + 名詞とは何か
- 主語の見つけ方

5種類の文の要素



- S (主語 / Subject)
 - V (動詞 / Verb)
 - O (目的語 / Object)
 - C (補語 / Compliment)
 - M (修飾語 / Modifier)
- 文型の中
- 文型の外

※文型が特定され、文の要素が見つかったらそれ以外はすべてMと考える。
※英文中の単語はすべて必ずこの5つの要素のどれかに分類される。

S (主語)

- 必ず文中にある
- 必ず名詞である (名詞以外はSにならない)
- Vの前にあることが多い



V (動詞)

- 必ず文中にある
- 必ず動詞である (例外なし)
- 文型をつかさどる
- 時制 (過去形とか)、相 (進行/完了)、法 (仮定法とか)、Sの人称、倒置 (疑問文とか) などの影響を受け変化する

※むしろSVがあることがその英単語の羅列が文であること条件というほうが正しい。



O（目的語）

- 文中に**あつたりなかつたり**する
（**Vの文型依存**）
- 必ず**名詞**である（名詞以外はOにならない）
- Vの後にあることが多い
- Sと同じものをOに置くことは出来ない
（SVOのとき、**S≠O**である）



C（補語）

- 文中に**あったりなかつたり**する
（**Vの文型依存**）
- **必ず名詞か形容詞**である
- **SVCならS**にかかる
- **SVOCならO**にかかる



M（修飾語）

- 文中になくていい
- 名詞・動詞・形容詞はMにならない
- SVOCなどにならないものはすべてMである

※つまりMの文中からどれだけ削っても英文としては成立しつづける。逆にSVOCのどれかを文から削ると、文として成立しなくなったり、意味が変わったりする。



品詞の紹介



- 名詞：必ず文中で文の要素になる
(①S②O③C④前置詞のOのどれかになる)
- 動詞：必ず文型を持ちVとなる
- 形容詞：①名詞にかかるor②Cになる
- 副詞：文型には入らない

○発展○

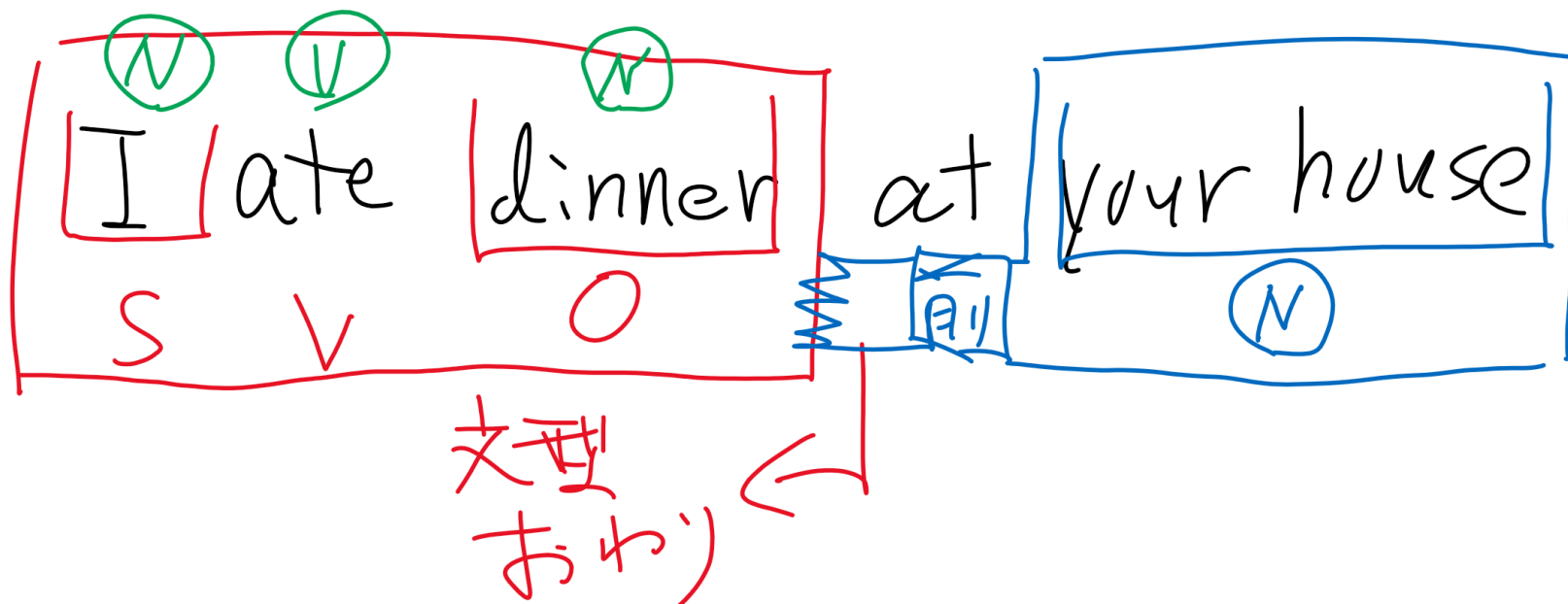
名詞の用法は正確には下記の6種類。これ以外の名詞の用法はかなり例外的なものか、誤用である。

- ①Sになる
- ②Oになる
- ③Cになる
- ④前置詞のO
- ④前の名詞と同格
- ⑤連名詞を形成する

前置詞 + 名詞



- 前置詞の後には必ず名詞がひとつつく。
- 前置詞 + 名詞は形容詞か副詞になる。



主語の見つけ方



- 文を前から読んで
最初に出てくる名詞が主語！
 - 最初に出てくる名詞の前に前置詞があったらその名詞は主語ではない！
- ➡➡文中で前置詞を伴わずに最初に出てくる名詞が主語！！！！

主語はどれでしょう

- The dog attacked my daughter.
- Are the students yours?
- You and I know each other very well.
- Under the tree we used to talk a lot.
- Under the tree is an old wooden box.
- Here at the gate comes your boyfriend.
- Some very sensitive topic we've discussed.



主語はどれでしょう

- The dog attacked my daughter.
- Are the students yours?
- You and I know each other very well.
- Under the tree we used to talk a lot.
- Under the tree is an old wooden box.
- Here at the gate comes your boyfriend.
- Some very sensitive topic we've discussed.

「Sは必ずあるルール」が、「文型の語順ルール」に優っている。。。。

